

1000年に一度の大津波を想定した 吉田町津波ハザードマップ

平成23年11月作成

1000年に一度の大津波とは

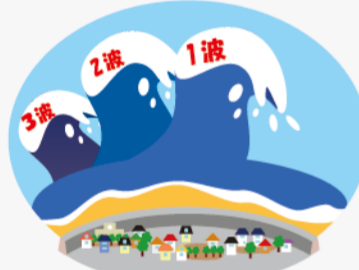
駿河トラフから南海トラフでは、ほぼ100年間隔で地震と、それに伴う津波が発生しています。その中で1707年宝永津波、1854年安政東南海津波、1944年昭和東南海津波では駿河湾内で10mを超える津波記録はありません。これに対し1498年明応地震による津波は、西伊豆で10mを超える津波痕跡が複数見られ、先に挙げた3つの津波よりも明らかに大きな津波です。ここでは、今般の東日本大震災による津波が貞観地震以来約1000年を隔てて起きた巨大津波であることに対応させ、1498年明応地震による津波を「1000年に一度の大津波」と表現しました。

避難場所一覧

地区	名称	住所	土地の標高(m)
住吉	住吉小学校	住吉 2223	3.4
	中央公民館	住吉 89-1	7.9
	総合体育館	住吉 180-1	6.1
	吉田中学校	住吉 230	6.0
	学習ホール	住吉 1567	3.3
	体育センター	住吉 3367-6	3.2
	住吉会館	住吉 1567	3.3
	住吉コミュニティ防災センター	住吉 5274-6	2.6
	さくら保育園	住吉 1621-1	3.6
	あやめ保育園	住吉 3299-15	2.8
川尻	中央小学校	片岡 850-1	7.0
	川尻会館	川尻 1623	3.3
	浜丁会館	川尻 3138-38	3.3
	すみれ保育園	川尻 1621	3.1
	吉田高等学校	片岡 2130	10.0
片岡	健康福祉センター	片岡 795-1	7.0
	片岡会館	片岡 2488-1	8.8
	下片岡会館	片岡 1241-3	2.9
	さゆり保育園	片岡 805-1	6.7
	総合障害者自立支援施設(あつまりーナ)	片岡 1996-1	7.1
	町立図書館	片岡 404	11.2
	中央児童館	片岡 805-5	7.1
	デイサービスひまわりの家	片岡 2002-2	6.9
	自彊小学校	神戸 1748-2	15.4
	自彊館	神戸 2167-2	15.0
北区	神戸集落センター	神戸 2693-1	13.5
	神戸西会館	神戸 3934-1	23.3
	大幡会館	大幡 1142	16.1
	わかば保育園	神戸 2092-1	14.5
	北区いきいきセンター	神戸 2117-1	15.1

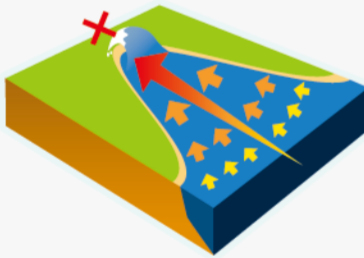
上記は現在の指定避難場所ですが、今後、この想定に基づいて津波避難施設を設けていきます。

津波の特徴



●津波は繰り返し襲ってきます。必ずしも第一波が最大とは限りません。少なくとも12時間以上は警戒が必要です。

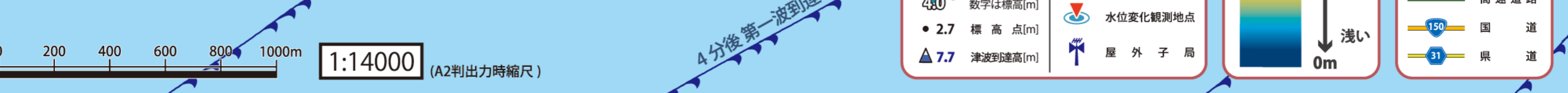
●水深が浅くなるほど、津波の高さは高くなります。また、V字型の湾では急激に高くなります。



津波到達時間とは

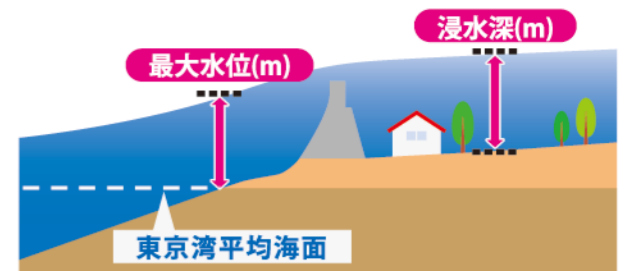
地震発生から、津波による浸水深が50cmに達するまでの時間を表しています。

地震発生 10分後

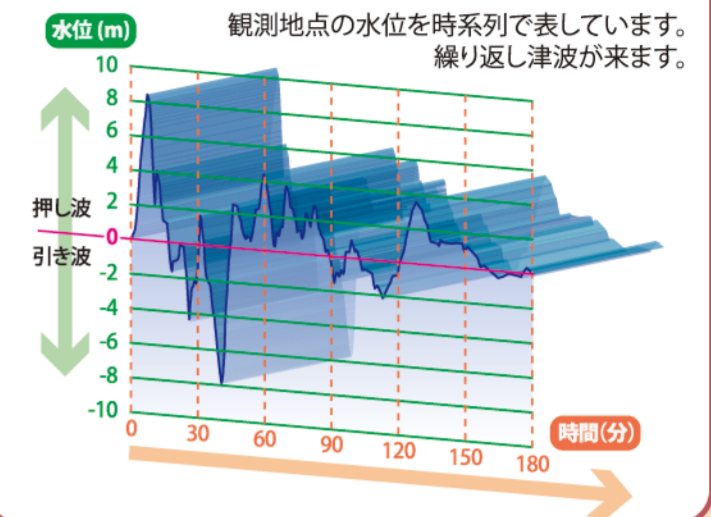


津波の高さに関する表示方法

最大水位は、各地点周辺の海面からの津波の高さです。浸水深は、各地の地表面からの水面の高さです。



水位変化時系列グラフ (津波の到達時間と高さ)



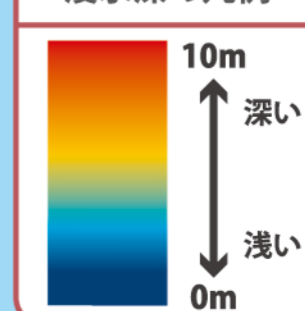
土砂災害の凡例

- 急傾斜地崩壊危険区域
- 急傾斜地崩壊危険箇所

津波に関わる凡例

- 避難場所 (数字は標高[m])
- 医療施設 (数字は標高[m])
- 標高点[m]
- 津波到達高[m]
- 第一波到達時間
- 津波到達時間
- 水位変化観測地点
- 屋外子局

浸水深の凡例



地図の凡例

- 吉田町役場
- 関連施設
- 高速道路
- 国道
- 県道

0 200 400 600 800 1000m 1:14000 (A2判出力時縮尺)